

自己評価報告書

平成23年 4月 21日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（B）

研究機関：2008年度～2012年度

課題番号：20330135

研究課題名（和文）言語学習システムの成立・洗練過程に関する研究

研究課題名（英文）Emergence and elaboration of word-learning mechanisms in children

研究代表者 針生 悦子（HARYU ETSUKO）

東京大学・大学院教育学研究科・准教授

研究者番号 70276004

研究分野：発達心理学，認知心理学

科研費の分科・細目：社会科学・教育心理学

キーワード：言語発達，単語の切り出し，語彙獲得，動詞，形容詞，オノマトペ

1. 研究計画の概要

子どもは2歳ころまでには、初めてであった単語の意味を、すばやく適切に推論する方略を身につけ、爆発的な勢いで語彙を獲得していくようになる。本研究課題は、このような効率よい学習システムが、(1) それ以前にどのようなプロセスをへて成立してくるのか、また、(2) それ以降どのように洗練されていくのかを明らかにすることを目的として計画された。より具体的に述べると、(1) については、①物理的には切れ目のない発話から単語を切り出し、その単語を品詞ごとに分類していくプロセスについて、助詞に着目した検討を行うこと、②人の口から発せられる音声は単なる音ではなく意味をおびた単語ととらえられるようになっていくプロセスを明らかにすること、(2) については、これまで主として研究されてきた名詞以外の種類の単語、たとえば、動詞や形容詞、オノマトペにも着目し、子どもがそれらの意味をも適切に推論できるようになっていく、そのプロセスとはどのようなものかを明らかにすること、を目指した。

2. 研究の進捗状況

上記(1)の①については、乳児を対象とした実験により、子どもは1歳ころまでには発話中の助詞を聞き取ることができるようになってきているだけでなく、それは省略可能であることまで理解しているらしいこと、実際にこの助詞についての知識を隣接する単語の切り出しに利用し、さらに、1歳半になるまでには、“助詞がつくことのできる単語”といった意味で、“名詞”をほかの種類の単語とは区別できるようになっていることなどを見いだしてきた。これらの知見は、国際

会議などでも発表してきたが、今後は論文にまとめ、国際誌に投稿する予定である。

(1)の②は、ことばは2つの側面、すなわち、特定の誰かの口から発せられる音声であるという側面と、その音声は誰が発しようとする特定の対象を指示するのに使われるという側面を持つが、子どもは何を手がかりにこれら2つの側面を分離し、後者の側面であることばを学んでいくようになるのかを、問題にするものである。この問題について検討を加えるため、具体的には、子どもへの入力において単語が発せられるタイミングや、単語のプロソディックな側面が、子どもの単語理解にどのような影響を及ぼすかについて実験を行い、その成果の一部については学会などでも発表してきた。今後これらの成果は論文にまとめるとともに、さらに、そこで得られた知見を展開させた研究を行っていく予定である。

(2)については、動詞、形容詞、オノマトペのいずれをテーマにした研究においても一定の成果をえてきたし、それらの知見の一部は既に査読のある学術雑誌に発表してきた。現在は、そこで得られた知見をもとに、その起源をさぐるための、乳児を対象とした実験を計画中である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。すなわち、当初の計画では、最初の3年間で、上記(1)の①や、(2)の幼児を対象とした研究（形容詞や動詞、オノマトペ）については、データ収集をひととおり終え、後半の2年間では、それまでにえられた成果を順次論文文化していくとともに、最初の3年間に幼児で得られた知見などをもとに乳児を対象とした研究

(上記(2)の②に部分的に対応する)を計画し、進めていく予定であった。これまで、その計画通り進めることができている。

4. 今後の研究の推進方策

当初の計画どおりに進めていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 13 件)

- ① 坂本恵子・針生悦子, 幼児における新奇な形容詞の解釈, 心理学研究, 82, 印刷中, 査読あり
- ② Haryu, E., Imai, M., & Okada, H., Object similarity bootstraps young children to action-based verb extension, *Child Development*, 82, 674-686, 2011, 査読あり
- ③ 針生悦子, 幼児における擬音語の理解: 濁音文字知識に注目して, 教育心理学研究, 58, 275-284, 2010, 査読あり.
- ④ Maguire, M. J., Hirsh-Pasek, K., Golinkoff, R. M., Imai, M., Haryu, E., Vanegas, S., Okada, H., Pulverman, R., & Sanchez-Davis, B., A developmental shift from similar to language specific strategies in verb acquisition: A comparison of English, Spanish, and Japanese, *Cognition*, 114, 299-319, 2010, 査読あり
- ⑤ Fais, L., Kajikawa, S., Amano, S., & Werker, J.F., Now you hear it, now you don't: Vowel devoicing in Japanese infant-directed speech, *Journal of Child Language*, 37, 319-340, 2010, 査読あり
- ⑥ Fais, L., Kajikawa, S., Amano, S., & Werker, J.F., Infant discrimination of a morphologically relevant word-final contrast, *Infancy*, 14, 288-299, 2009, 査読あり
- ⑦ 梶川祥世・針生悦子, 乳児における助詞「が」の認識, 玉川大学脳科学研究所紀要, 2, 13-21, 2009, 査読あり.
- ⑧ Imai, M., Li, L., Haryu, E., Okada, H., Hirsh-Pasek, K., Golinkoff, R.M., & Shigematsu, J. Novel noun and verb learning in Chinese-, English-, and Japanese-speaking children, *Child Development*, 79, 979-1000, 2008, 査読あり

[学会発表] (計 21 件)

- ① 針生悦子, 日本語獲得の起爆剤としての助詞, 日本発達心理学会第 22 回大会,

2011.3.27, 東京.

- ② Jiang, L. & Haryu, E., Young Chinese-speaking children's understanding of the correspondence between verb meaning and argument structure, 35th Boston University Conference on Language Development, 2010.11.5, Boston.
- ③ 針生悦子・梶川祥世, 乳児における単語の聴き取り: 助詞という手がかりに注目して, 日本心理学会第 74 回大会, 2010.9.20, 大阪.
- ④ 山本寿子・針生悦子, 24ヶ月児の単語認知におけるピッチアクセント情報の役割, 日本心理学会第 74 回大会, 2010.9.20, 大阪.
- ⑤ 梶川祥世・針生悦子, 母親による擬音語朗読音声の音響特徴, 日本発達心理学会第 21 回大会, 2010.3.28, 兵庫.
- ⑥ Haryu, E. & Kajikawa, S., Japanese infants utilize grammatical particles as cues to categorize a novel word into a noun class, 17th Biennial International Conference on Infant Studies, 2010.3.13, Baltimore.
- ⑦ 針生悦子・梶川祥世, 子どもはどのようにして“名詞”を理解するようになるのか: 助詞を手がかりとした品詞カテゴリーの形成, 日本認知科学会第 26 回大会, 2009.9.10, 神奈川.
- ⑧ Haryu, E., When and how do Japanese children acquire symbolic values of Japanese onomatopoeia? The influence of Japanese writing system, Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development, 2009.4.3, Denver.
- ⑨ Haryu, E., Imai, M., & Okada, H., Object similarity fosters novel verb generalization in young children, Biennial Meeting of the Society for Research in Child Development, 2009.4.2, Denver.
- ⑩ 梶川祥世・針生悦子, 6-15ヶ月児における格助詞「が」の認識 第 22 回日本音声学会, 2008.9.15, 千葉.

[図書] (計 3 件)

- ① 針生悦子, 北大路書房, 言語力の発達 (市川伸一(編)「発達と学習」), 2010, 28-53.
- ② 針生悦子, 新曜社, 子どもの言語獲得 (重野純(編)「言語とこころ: 心理言語学の世界を探検する」), 2010, 59-83.
- ③ 針生悦子, 福村出版, ことばとコミュニケーションの発達 (繁多進(監) 向田久美子・石井正子(編)「乳幼児発達心理学」), 2010, 89-104.